

## 子どもの発達を考える会

演題『発達障がいのある子どもたちが青年期を乗り越えていくために』

～保護者・支援者が今できること～

桃山学院教育大学 教授 松久 眞実 氏



【松久 眞実（まつひさ まなみ）先生の御紹介】

桃山学院教育大学人間教育学部教授

日本授業UD学会湘南支部アドバイザー・特別支援教育士スーパーバイザー・

公認心理師・学校心理士・臨床発達心理士

堺市立特別支援学校で教師生活をスタートし、市内小学校で主に通常学級担任として勤務。堺市教育委員会指導主事、プール学院大学教育学部准教授などを経て現職。大学では、学生支援センター長として発達障がいがある学生の支援を行っている。

著書に、『人的環境のユニバーサルデザイン』（2019年）（東洋館出版社）、『発達障害の子どもとあったか仲間づくりーいじめ撲滅ー』（2014年）（明治図書出版）他多数。

11月27日（金）ライフパーク倉敷 大ホールで講演会「子どもの発達を考える会」を開催しました。本年度は、ライフパーク倉敷と桃山学院教育大学をつないでのオンライン形態で実施いたしました。会場には教職員、福祉関係者、保護者等、およそ100人が集まりました。大学における発達障がいがある学生への支援体制とともに、発達障がいのある子どもたちへの関わり方を事例を通して学ぶことができ、参加者が元気になる講演会でした。

### 発達障がいがある子どもたちの将来に必要なこと

- ①大切に育てられること
- ②いじめ被害から守ること
- ③教室を安全で安心できる居場所にする

### ②のために・・・

・ASDの子どもたちは・・・

↓フラッシュバックが起きやすい

↓記憶がよいことが仇となる

・好意に満ちたクラスづくり

好意に満ちた語りかけ

子どもを信じる、言い分を聞く、責めない

アイビリーブ（アイメッセージ）

私を主語にしてメッセージを伝える

### ①はなぜ大切か？

◎快体験

↓ぐっすり眠る、おなかいっぱい、

↓おしめが乾いている など

◎自己調節機能の発達

↓気分の調節ができる、変化に対

↓応できる、葛藤を抱えられる

◎「愛・安心」といった健全な愛着形成

×不快体験

↓眠れない、空腹、おしめが濡れ

↓ている など

×自己調整機能不全

↓気分調整ができない、変化に対

↓応できない、葛藤を抱えられない

×「怒り・不安」といった愛着形成不全

### ③のために・・・

誉め方は3段階で

↓・誉める

↓・アイメッセージ

↓・事実の確認

### ③のために・・・

特別支援教育のハード面・ソフト面を両立すること

・ハード面・・・視覚支援、

スケジュールの提示、教室の構造化

・ソフト面・・・誉め方・叱り方

分かりやすい指示の出し方

教師を信頼・尊敬しているか

### 《参加された方の感想》

- ・ 子どもが正しい指摘を素直に受け止められないという話に共感しました。年々、そのことを認識するようになってきたものの、相手の心の器を広げるためには、自分の心の器を広げていかなければと思いました。
- ・ たくさんのヒントをいただいた講演でした。教師として生徒に向き合っていく中で、この世に生を受けた一人の人間として向き合っていくことの大切さを改めて感じました。
- ・ 子どもに、そして保護者に寄り添って本物の笑顔が引き出せるよう頑張りたいと思います。「愛」がいっぱい伝わってきました。
- ・ いろいろな事例もよかったです。松久先生の経験談が本当に心に残りました。働きながら子育てをする女性として、はっとさせられることだらけでした。



## 研修風景



### 16年目研修

教職経験16年目の先生方の研修として、第2回は、Web会議システムを使って、鳴門教育大学 教授 久我 直人先生より「次世代の学校づくりにつながる組織マネジメント—確かな学力を育み、いじめ・不登校等を軽減する『効果のある指導』の組織的展開—」、第3回は、岡山県JICAデスク 守都 未来 先生（国際協力推進員）より『『SDGs』の理解と推進』について講義・演習を行っていただきました。ミドルリーダーとしての知見を広める大切な機会となりました。

（「学校組織マネジメント」受講者の感想から）

効果のある指導を学校全体で組織的に取り組むことの大切さを強く感じました。現状は、各分掌担当の教員が工夫して、いろいろな取り組みをしています。しかし、久我先生のお話を聞いて、全教員で本校の児童の課題を明確にし、共通理解のもと一点突破の指導ができれば、今以上に効果のある指導につながるだろうと思いました。また、価値付ける褒め方をすることの大切さも学んだので実践したいです。

（『SDGs』の理解と推進」受講者の感想から）

持続可能な社会を築くために、世界中の一人ひとりができることを考えて実践していかないといけないと改めて感じました。今日学んだことを、自分自身で実践することだけでなく、未来を生きていく生徒に伝えることも自分自身の大切な役割なのだとか気付けられました。総合的な学習の時間等を使い、計画的に学んだ内容を実践していきたいです。

### 中堅教諭資質向上研修

中堅教諭資質向上研修では、夏の「教科指導」研修で検討した学習指導案を基に、秋には校内研修として各学校で授業実践を行いました。また、校外研修では「命のサインに気付くために」「教えること、育てること、愛すること～教師として生きる『覚悟』を問う～」「学校組織マネジメント」等の講義・演習を通して学んだ理論を実践に生かし、中堅教諭に求められる資質能力の向上につなげています。

（「教えること、育てること、愛すること～教師として生きる『覚悟』を問う～」受講者の感想から）

- ・ 「子どものそばにすべてがある」「この子のために私がいる」と、私も自信をもって「教師」と言えるよう、しっかりと「教育愛」をもって生徒に関わっていきたいです。
- ・ 「見立て」の大切さを感じました。子どもが見せたがっているものが見える教師、子どもをいろいろな面から見る（看）ことができる教師になれるように努めていきます。
- ・ 「教師として生きる覚悟」はできているつもりでしたが、もう一度この言葉の意味をよく考えたいです。夢を語れる教師、子どもに夢や希望を与えられる教師になりたいと思いました。

（「学校組織マネジメント」受講者の感想から）

- ・ 演習でSWOT分析をしたところ、自校の内外の強みを多く発見することができました。また、他校の先生方と意見交換をするとき、当たり前と思っていたことが「良さ」であることに気付くこともできました。「ないものねだり」から「あるもの活かし」というキーワードが心に残りました。
- ・ 自分のことができなければよいのではなく、学校組織全体を見たり、若い教員を育てたりしていくことが求められていると分かりました。組織力を高める一員でありたいと思います。

### 初任者研修（幼小連携・小中連携）



天城幼稚園・第四福田小学校にお世話になり、幼稚園と小学校、小学校と中学校の連携をテーマにした研修を実施しました。円滑な接続について考える貴重な学びの場となったようです。

（小学校受講者の感想から）

天城幼稚園の先生方のお話から、幼稚園の取組や幼児の発達の様子が分かりました。また、「待つ」ことや子どもたち自身が居場所だと感じられることの大切さを学びました。私も子どもたちが探求する心を伸ばすことができるよう、主体的に活動できる授業づくりに力を入れたいです。

幼稚園でたくさんのことを体験しているからこそ、小学校での教科学習や友達との関わりにそれらを生かすことができているのだと分かりました。幼稚園での環境構成は、多くの選択肢があって驚きました。小学校でも自分で選べるような環境をつくるのが、ユニバーサルデザインにもつながっていくのではないかと思います。

幼児の様々な活動場面から、「遊びの中で学ぶ」大切さを感じることができました。遊びに必要な力は様々あり、教師はそれを身に付けさせるために意図的に働きかけていると学びました。また、小学校に入ってOからスタートするのではなく、幼児期の学びを小学校で広げていくイメージをもつことが重要であると知りました。



（中学校受講者の感想から）

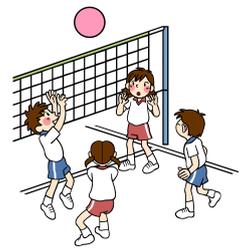
授業の中で「自己決定の場を与える」「自己存在感を与える」「共感的人間関係を育む」といった生徒指導の機能を重要視する大切さを学びました。ただ考えさせたり発表させたりするのではなく、このような生徒指導の3機能を意識して授業を組み立てていきたいです。

「子どもたちの声がよく聞こえる授業」を目指し、「意思表示の機会を増やす」「前時の授業の振り返りを生かしたためあての引き出し方を工夫する」「話し合いの時間をとって答えや考え方を導き出す」ような分かる楽しい授業づくりをがんばりたいです。また、子どもたちの小学校の頃の様子をもっと知ろうとする意識を大切に、小中連携の機会を増やしていけたらいいなと思います。

視覚支援などを上手に取り入れられていて、児童の「できる」「分かる」が多い授業でした。また、前時との違いを引き出し、めあてを設定していたので、意欲的に授業に取り組める児童が多かったように思いました。発問の工夫や指示の明確さなど取り入れたいものがたくさんありました。



# 倉敷ふれあい教室の行事



倉敷ふれあい教室では例年、5教室合同で体験活動を行っています。教室の仲間と協力することの大切さややり遂げた喜びを感じることを目的としていますが、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止による取組により、「宿泊自然学習」と「ソフトバレーボール大会」を中止しました。そのような中でも、「クラスマッチ」や「紹介ボード」、室外行事などや日々の生活を通して、他教室の仲間や自分の教室の仲間との絆を再確認することができています。

## ふれあいクラスマッチ



互いに離れた教室同士でも一体感をもつことができる合同行事として、毎月1つの課題に挑戦しています。「ノールックバックボーリング」や「1円玉立て」、「漢字しりとり」など、シンプルで緊張感のある課題を楽しみながら競い合っています。

## ふれあい紹介ボード



合同行事ができない中で、各教室の紹介ボードを工夫を凝らして作成し、1か月毎に他教室で回覧することで教室同士の交流をしました。一周して戻ってきたボードには、他教室の仲間からたくさんのメッセージが残されていて、うれしそうに読んでいた姿が見られました。今は大切に教室に掲示しています。

## ふれあい文化祭(参観展示・懇談会) (11~12月 各教室)

各教室で特色のある出し物や作品展示があり、子どもたち一人ひとりが活躍する姿が見られました。

### 倉敷



参観展示・懇談会の形で1週間開催しました。期間中は、「年賀状作り」「書道」「リース作り」「カードゲーム大会」「門松作り」など季節に合わせたいろいろな活動を楽しみました。「タイダイ染め」や「絵手紙」などの創作品を展示しました。

### 水島



ライフパーク倉敷の大ホールで、スライドでのふだんの活動紹介、劇「りんご姫」、ハンドベル演奏「夢を叶えてドラえもん」、手話ダンス「僕が君の耳になる」を役割分担をして披露しました。「絵具アート」や「大切にしたい言葉」などを展示しました。

### 児島



2日間、スポーツ推進委員の方に御協力いただき、「囲碁ボール」、「ディスクン」を保護者の方や先生方と楽しみました。コマ回しではいろいろな技を披露しました。約460個の牛乳パックで作った家や季節感のある創作品などを展示しました。

### 玉島



スライドでのふだんの活動紹介、ハンドベル演奏「アメイジンググレイス」、保護者の方や先生方とラジオ体操、学校対抗「カーリンコン」、3種類のクラスマッチと盛りだくさんの内容で大いに楽しみました。折り紙で作成した季節の創作品などを展示しました。

### 真備



川柳の発表と、保護者の方や先生方と「お題卓球大会」をしました。引いたお題の言葉を、ボールを打つタイミングで言ってラリーをするので、焦って間違えたり、言えなかったりして、笑いの中いい汗をかきました。ブルーベリーの染め物などを展示しました。

### 感想

- (児童生徒)
- 学校の先生や家族が自分の作品を褒めてくれてうれしかったです。
  - あれば、私たちじゃないとできなかったんだと思います。
- (保護者)
- 家でもずっと楽しそうに練習していました。
  - 前日は不安そうでしたが、やり遂げられてよかったです。
- (学校)
- 役割をきちんと果たそうとする様子に元気をもらいました。
  - 学校とは違う姿が見えました。

## 倉敷ふれあい教室めぐり②

今回は、水島教室の紹介をします☆

### ☆☆ 児島教室 ☆☆

友だちづくり ☆ 体力づくり ☆ 野菜づくり

☆ 楽しく元気に活動 ☆



[ 栽培活動 ]

倉敷ふれあい教室児島教室は、元幼稚園の広い敷地でさまざまな活動をしています。学習などの活動は教室で行いますが、体育室・図書室・調理室もあり、屋外には運動場や畑もあります。

通室日は月曜日から金曜日までで、午前9時30分から午後3時までです。  
(水・木曜日は午後1時まで)

「なかよし活動」では、スポーツ・調理実習・創作活動・清掃活動・栽培活動などに取り組んでいます。また、図書館訪問、幼稚園交流、遠足、散策などで教室外に出る活動もあります。

「スタディ」の時間では、自分に合った勉強に取り組み、一人ひとり自分のペースで学習を進めています。

秋の遠足では、ライフパーク倉敷へバスに乗って行きました。埋蔵文化財センターで倉敷の歴史に触れ、みんな夢中になって土器パズルをしたことが楽しかったです。科学センターではプラネタリウムの鑑賞をして、思い出に残る遠足となりました。

児島教室は、豊かな自然の中で鳥の声に癒され、四季を感じながら、みんなで楽しくのびのびと過ごしています。



[ 秋の遠足 ]

### ☆☆ 真備教室 ☆☆

☆ 豊かな自然と歴史、

文化に囲まれて・・・

倉敷ふれあい教室真備教室は、倉敷市真備保健福祉会館3階にあります。山に囲まれた緑豊かな環境です。ゆったりとした雰囲気の中で、四季を感じながらいろいろな活動をして過ごしています。

午前中は自分で決めた「スタディ」に取り組み、その後、工夫、協力して「なかよし活動」を楽しんでいます。

創作活動では、マリーゴールドの花びらやブルーベリーの実をつぶして、ハンカチを黄色や紫色に染めたり、がま口を付けた財布を作ったりしました。また、本格的なデザインナイフを使って切り絵にも挑戦しました。



[ 創作活動 染物 ]

科学実験では、水中にシャボン玉を作ったり、洗濯のりと片栗粉でスライムを作ったりしました。

スポーツでは、地域の公共施設や公園でバドミントンをしたり、教室で卓球をしたりして体を動かして楽しんでいます。



[ 秋の遠足 ]

また、月に一度は「奉仕活動」として、吉備真備駅周辺や保健福祉会館の階段、ベランダを清掃して気持ちのよい汗をかいています。

その他にも、秋の遠足で玉島教室と合同で円通寺へ行きました。紅葉がきれいでした。教室から一歩出て、ふだん見ることができないものを見たり、触れたりすることで、有意義な時間となりました。

真備教室では、日々の活動を通して仲間と協力しながら、元気よく楽しんだり、挑戦したりして、「感動」と「希望」がもてるように過ごしています。